



2024年3月期（第48期） 決算説明資料 （ FY2024 | 48th Business Year）

2024年5月21日
株式会社フォーカスシステムズ
（証券コード：4662）

1	決算サマリー	P.3～
2	セグメント別概況	P.4～
3	財務状況等	P.8～
4	トピックス	P.11～
5	業績・配当予想－ 2025/3期（第49期）－	P.13～
6	ご参考	P.16～

各利益は期首計画をやや下回るも、売上高・利益ともに過去最高を更新

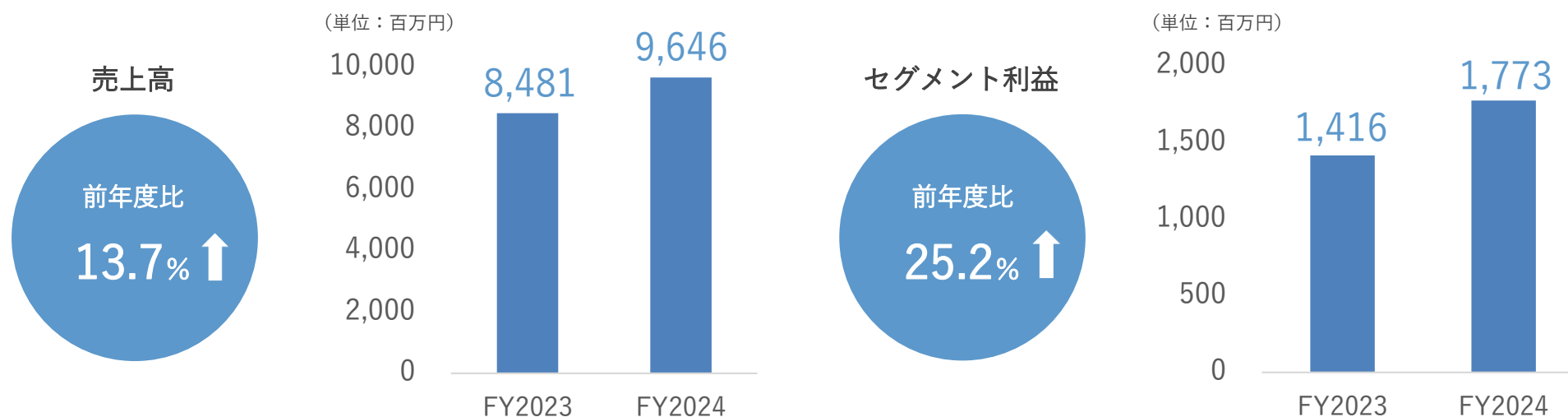
(単位：百万円)

	FY2023 実績	FY2024 計画	FY2024 実績	前期比		計画比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	29,124	30,100	31,509	2,385	8.2%	1,409	4.7%
営業利益	1,894	2,000	1,974	79	4.2%	▲25	▲1.3%
経常利益	1,911	2,020	1,971	60	3.2%	▲48	▲2.4%
当期純利益	1,390	1,450	1,406	15	1.1%	▲43	▲3.0%

公共関連

主に官公庁及び地方自治体を最終ユーザーとする社会インフラ基盤に係るシステムの設計・製造、システム稼動後の運用・保守

幅広い既存案件における着実なプロジェクト進行で利益を押し上げる

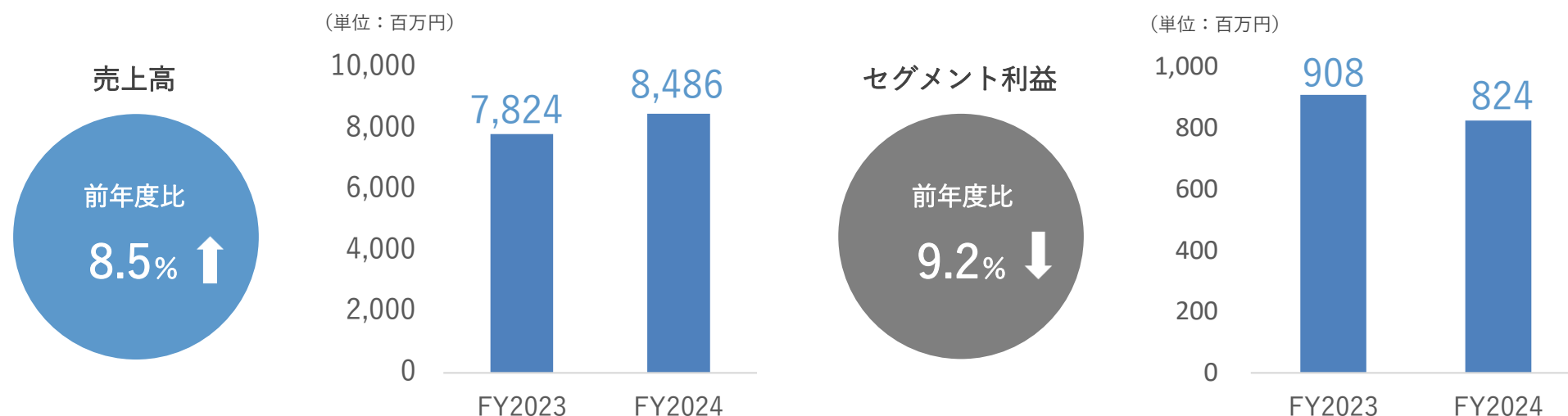


- 社会保障・自動車関連を筆頭に、医療・マイナンバー等を含む既存案件が増収増益に貢献。
- 予てより進めていた価格転嫁により売上・利益の底上げ。新規開拓は小幅ながらも徐々に伸長。

エンタープライズ

主に法人企業の基幹業務システム・Webシステムの開発、ネットワーク・インフラの設計・構築、RPAソリューション、付随する運用・保守、ICTに係るコンサルティング

ネットワーク・インフラが堅調に規模拡大した一方で、
基幹業務システムの開発案件のトラブル対応によりコストが増加

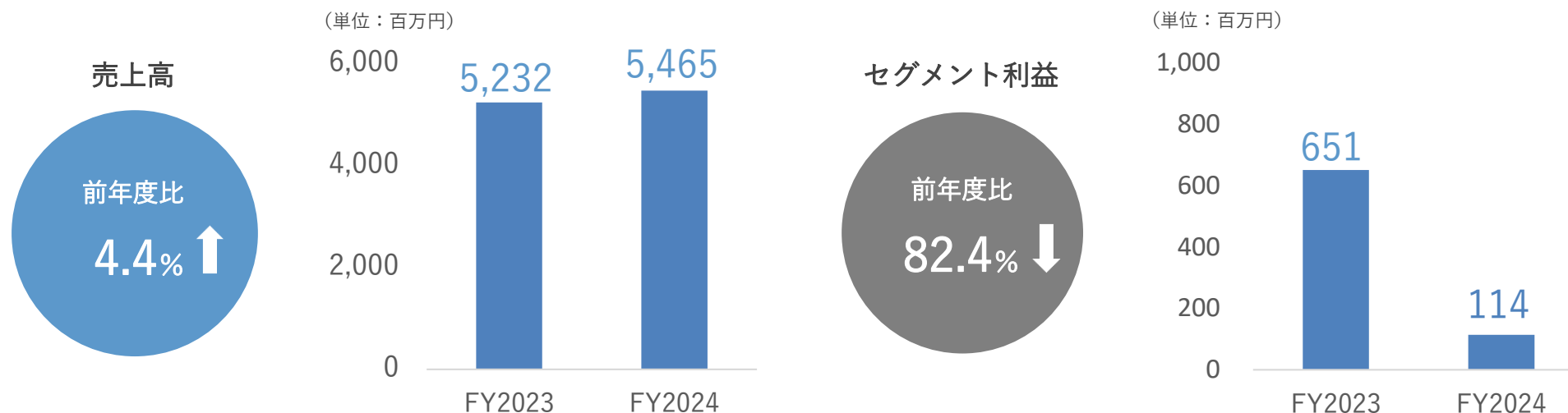


- ネットワーク・インフラ事業が下支え。イントラマートも引合い多く、増収。
- E R P は一次請負が増えて増収も、コスト比例し、高収益化には至らず。

広域ソリューション

主に東京・名古屋・大阪地域における、通信制御システム開発、組込みシステム開発、民間企業・行政機関向けシステム開発、AIソリューション、付随する運用・保守、ICTに係るコンサルティング

ローコードの開発案件による収益増加の一方で、不採算案件のコストが大幅に増加

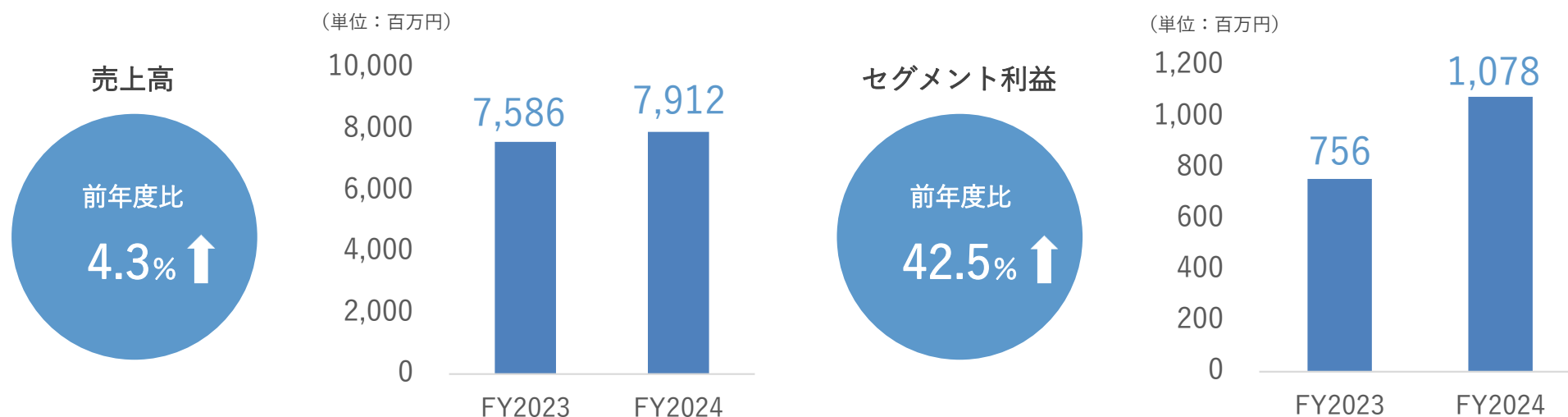


- 不採算案件を立て直し、納品完了。今後に備えて、セグメントでの再発防止対策を強化。
- ローコードを用いた開発案件等で収益機会を逃さず、事業セグメント全体で黒字を確保。

イノベーション

主にインフラ基盤設計・構築、メインフレーム構築、システム開発、付随する運用・保守、自社製品の製造、IoTソリューションの提供

大規模請負案件が利益を押し上げると共に、インフラ設計・構築等の既存案件も成長



- 大規模請負案件の納品に伴い、利益が大幅に増加。
- インフラ事業、統合業務プラットフォームの好調により、利益の押し上げに寄与。

(単位：百万円)

	前事業年度	当事業年度
(資産の部)		
流動資産	11,875	13,089
固定資産	8,541	7,900
有形固定資産	3,649	3,548
無形固定資産	159	120
投資その他の資産	4,731	4,232
資産合計	20,417	20,989
(負債の部)		
流動負債	5,841	6,150
固定負債	1,761	1,422
負債合計	7,603	7,572
(純資産の部)		
株主資本	10,867	11,744
資本金	2,905	2,905
資本剰余金	2,167	2,177
利益剰余金	6,140	7,003
自己株式	△346	△342
評価・換算差額等	1,946	1,672
純資産合計	12,814	13,416
負債純資産合計	20,417	20,989

前事業年度末と比較し572百万円増加

(主な増加理由)

・ 売掛金及び契約資産の増加 894百万円

(主な減少理由)

・ 投資有価証券の減少 401百万円

前事業年度末と比較し30百万円減少

(主な増加理由)

・ 未払法人税等の増加 246百万円

・ 1年内返済予定の長期借入金の増加 210百万円

(主な減少理由)

・ 買掛金の減少 191百万円

・ 未払金の減少 179百万円

・ 繰延税金負債の減少 138百万円

前事業年度末と比較し602百万円増加

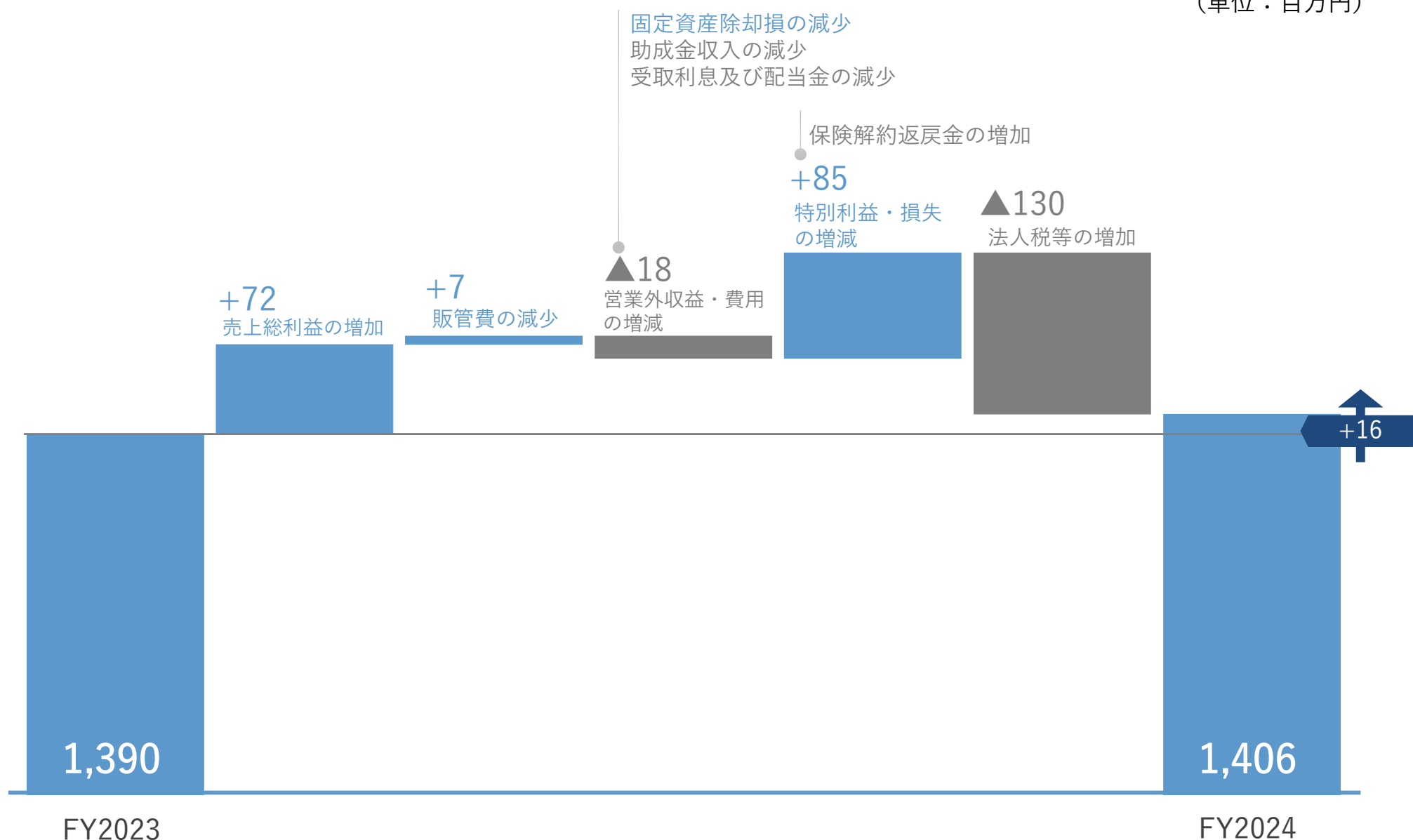
(主な増加理由)

・ 繰越利益剰余金の増加 863百万円

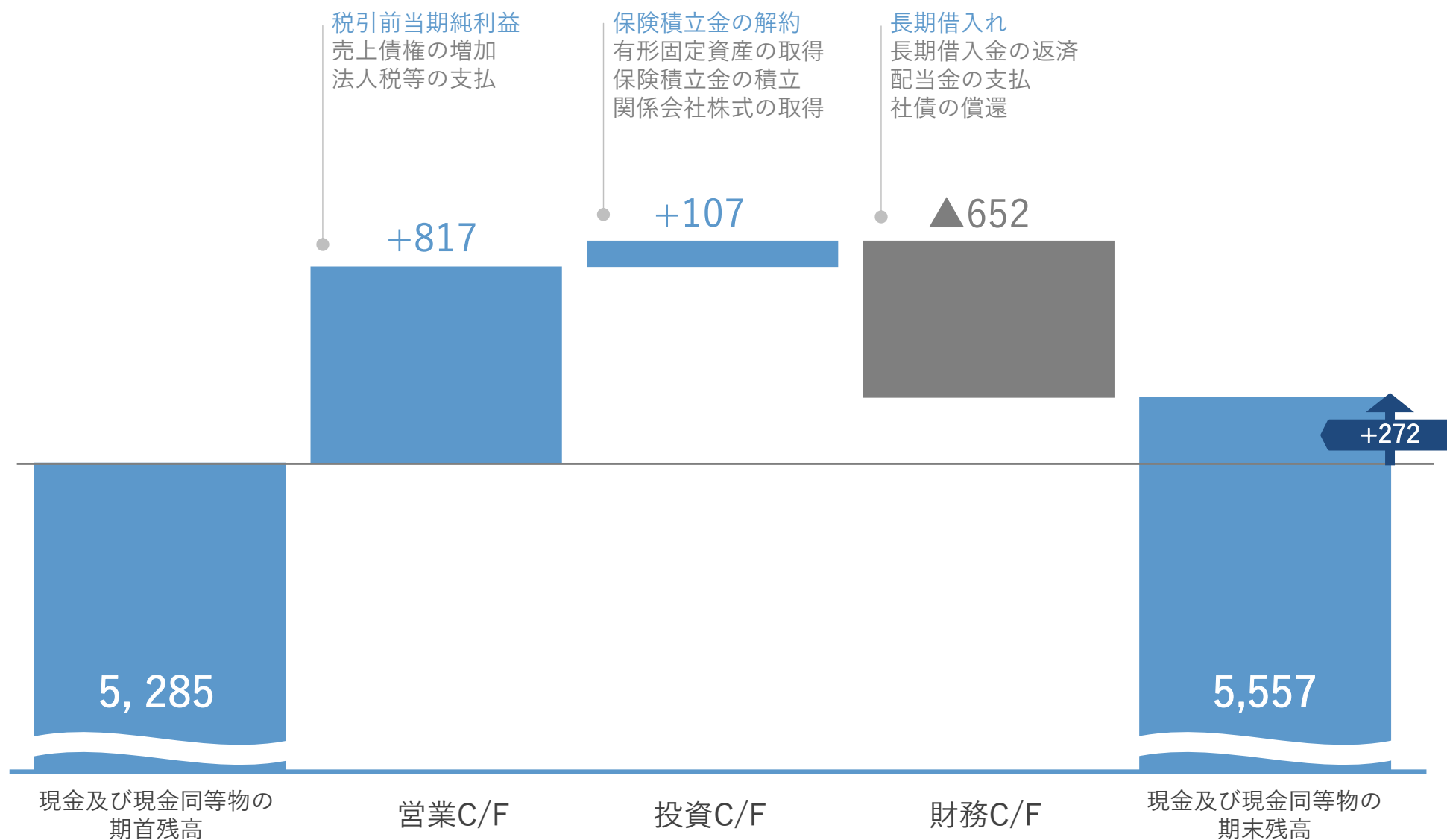
(主な減少理由)

・ その他有価証券評価差額金の減少 274百万円

(単位：百万円)



(単位：百万円)



トピックス

デジタルによる創発・共創のマッチングプラットフォーム「YOKOHAMA Hack!」
ICTを活用した子ども見守りサービス 保育所等で実施した4製品の実証実験を完了

IRニュース

定款一部変更に関するお知らせ

トピックス

AIを用いた検査時間短縮の研究について
日本核医学技術学会 第131回北陸地方会参加のお知らせ

トピックス

褥瘡の進行度AIに関する取組みについて
「第67回 日本形成外科学会総会・学会」にて発表

ニュース
リリース

<目黒区導入事例> 自治体DX成功の鍵
統合プラットフォームとして「intra-mart®」と「Asteria Warp」を採用

詳細やその他お知らせにつきましては、当社WEBサイトをご覧ください。

当社WEBサイト <https://www.focus-s.com>
お知らせ <https://www.focus-s.com/news>

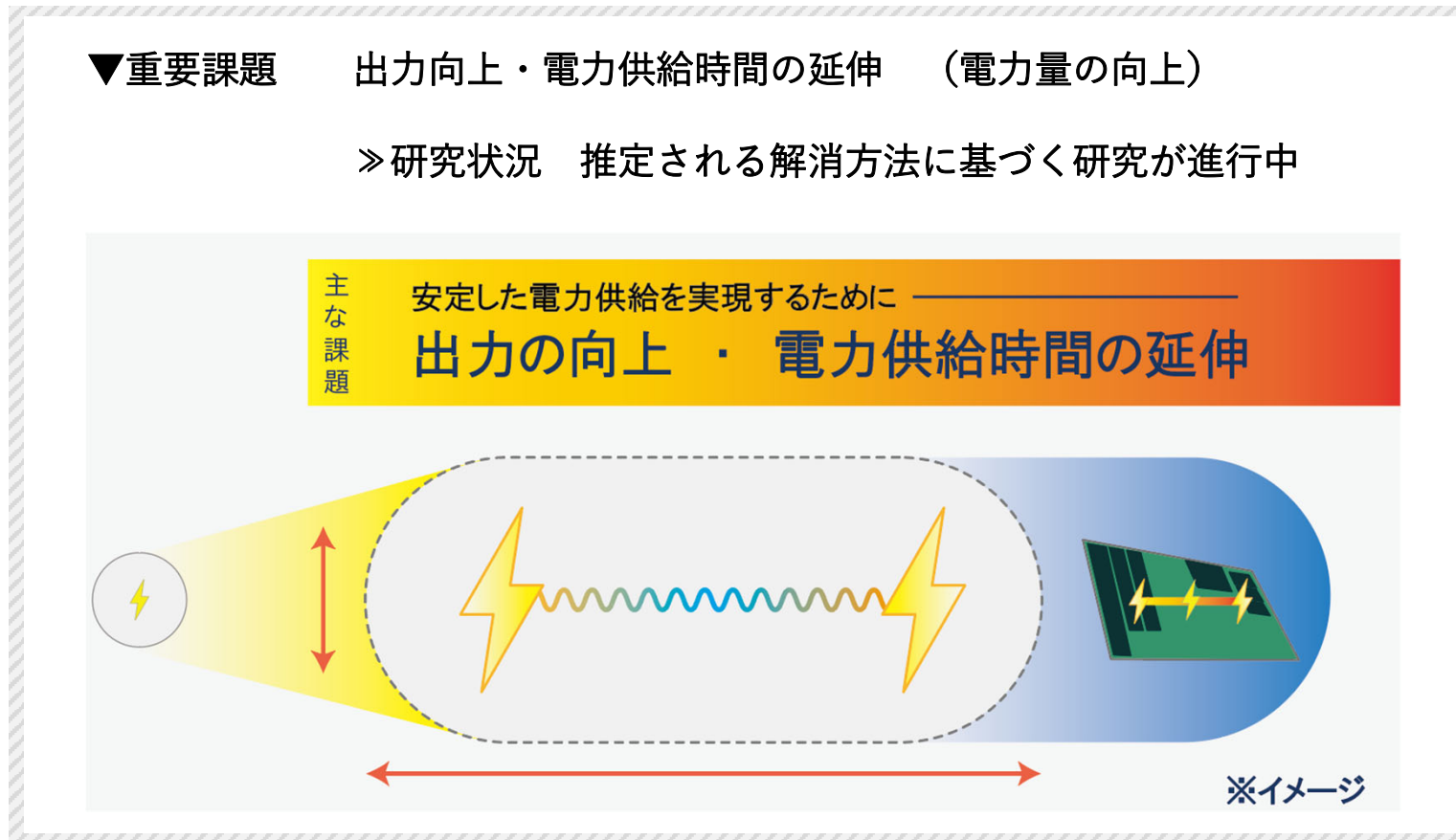
将来的には、あらゆるデジタル機器に利用可能なコア技術の開発を目指す。

▼2021.6.14 安定した電圧を繰り返し得ることに成功

「三次電池、IoT 機器」（特願 2021-057972 [2021 年 3 月 30 日付]）

▼重要課題 出力向上・電力供給時間の延伸 （電力量の向上）

≫研究状況 推定される解消方法に基づく研究が進行中



■関連リリース

- ・“IoT機器無充電”の実現を目指す「三次電池」研究開発に進展 ～次世代電源の特許出願・実証実験で近づくカーボンニュートラルへの貢献～（2021年6月14日）
- ・相転移物質に利用による三次電池の高電圧化に成功 ～室温付近の熱環境で充電可能な自立型電源の実現に向けて～（2020年2月6日）
- ・筑波大学とフォーカスシステムズ、三次電池の実装に関する共同研究を開始（2019年3月26日）

■ 過去最高の売上・利益を更新。

■ 1株当たりの年間配当金は、38.00円（中間配当6.00円＋期末配当32.00円）。

		FY2024 実績	FY2025 予想	増減率
売上高	(百万円)	31,509	32,500	3.1%
営業利益	(百万円)	1,974	2,100	6.4%
経常利益	(百万円)	1,971	2,100	6.5%
当期純利益	(百万円)	1,406	1,430	1.7%

		FY2024 実績	FY2025 予想
1株当たり当期純利益	(円)	93.13	94.66
1株当たり配当金	(円)	38.00 (内訳) 中間配当 6.00 期末配当 32.00	38.00 (内訳) 中間配当 6.00 期末配当 32.00
配当性向	(%)	40.8	40.1

- 売上高は順調に推移。利益面は不採算案件の影響もあり進捗に遅れが生じるも、株主還元は堅守。
- FY2026の目標値は据置き。当初計画を着実に進める。

指標		FY2023 (実績)	FY2024 (実績)	FY2026 (目標)
利益目標 	売上高	2 9 1 億円	3 1 5 億円	3 3 0 億円以上
	営業利益額	1 8 . 9 億円	1 9 . 7 億円	2 6 . 5 億円以上
	営業利益率	6 . 5 %	6 . 3 %	8 . 0 %以上
	ROE	1 0 . 1 %	1 0 . 7 %	1 2 . 0 %以上
株主還元目標 	1株あたり 配当額	3 5 . 0 円	3 8 . 0 円	安定配当を継続 (FY24～26)
	配当性向	3 8 %	4 0 . 8 %	3 5 ～ 4 0 %

今後とも、ご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



テクノロジーに、ハートを込めて。

本資料において、値は小数点以下切捨、割合は小数点第二位で四捨五入としております。

- 本資料は、2024年5月10日現在で入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る2024年5月10日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。従いまして、当社として、その確実性を保証するものではありません。

設立

48年

※2024年4月1日時点

売上

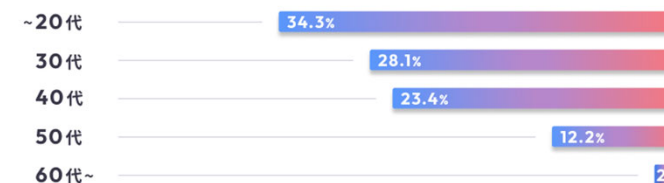
315億

※2024年3月期

年代構成



※2024年3月末時点



従業員数

1,344名

※2024年3月末時点

自己資本比率

63.9%

※2024年3月末時点

資格保有者数(延べ)

※経済産業省や各ベンダー資格など

1,870名

※2024年3月末時点

年間教育研修費

3,900万円

※2024年3月期

年間プロジェクト数

500PJ

※2024年3月期

顧客数

200社

※2024年3月期

最長取引年数

47年

※2024年3月末時点

育休取得率

女性

100%

※2024年3月期

男性

57.6%

育休の復職率

96%

※2024年3月期

平均育休取得期間

女性

484日

※2024年3月期

男性

62日

離職率

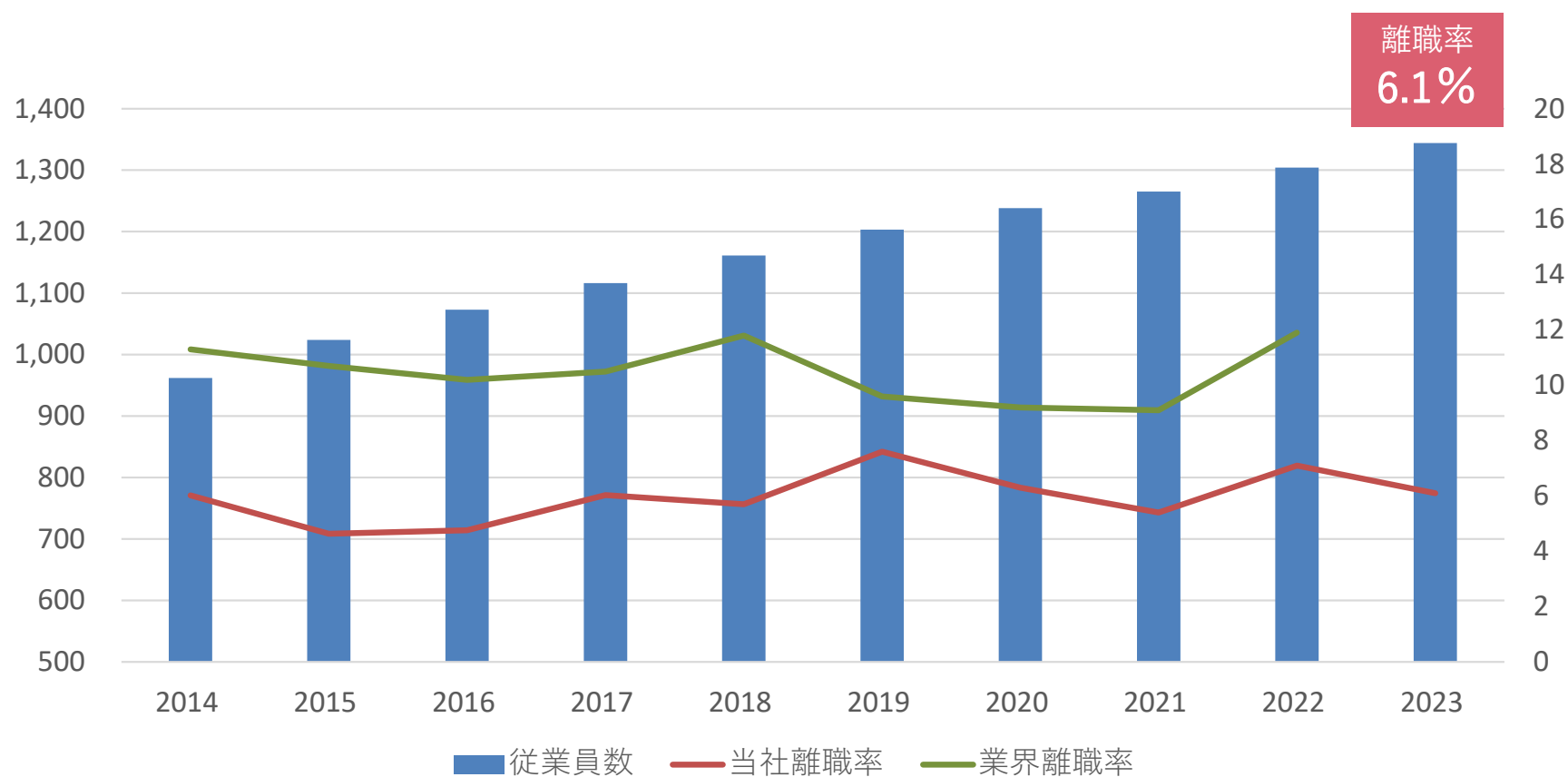
6.1%

※2024年3月期

- 求職者に向けた情報開示を充実させる等、当社の魅力認知向上・採用時のミスマッチ低減が奏功
- 会社単位&部門単位のWフォローアップにより、業界離職率の低位を維持

(単位：人)

(単位：%)



※業界離職率は「雇用動向調査結果の概要」(厚生労働省)より抜粋
 ※当社離職率は年度、業界離職率は年を基準としている。



5年連続で「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に認定されました。

* 経済産業省および日本健康会議が、優良な健康経営を実践している法人を認定するものです。

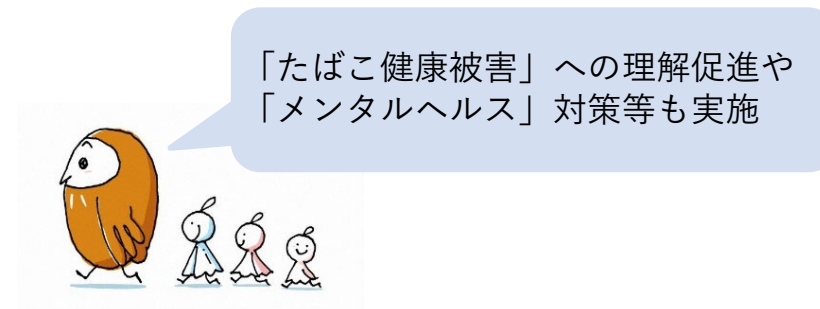
1 部活動支援

…社員の健康を促進するため、部活動への活動支援を実施。
現在、9つの部活が活動中。



2 健康管理セミナー

…心身のコンディションを整えるマインドフルネス研修や、食生活改善・肩こり腰痛予防セミナーなど、テーマ別のセミナーを実施。



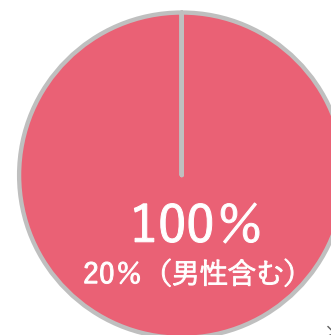
1 短日・短時間勤務制度

…仕事と育児・介護の両立を支援する制度。
短日（週3日）、短時間（1日5または6時間）が選択可能。
※育児は小学校3年生まで、介護は介護事由がなくなるまで可。
※同制度上で、フレックス制度も適用可。

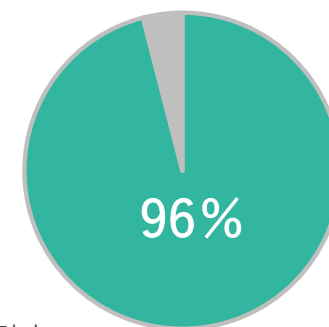
くるみん（次世代育成支援）
認定



育児休業あけ短日・短時間
勤務制度利用率



育児休業取得した社員の
復職率



※2024年3月末時点

2 ジョブリターン制度（再雇用制度）

…ライフイベント（結婚・出産・育児）や
キャリアアップ（留学・転職）を目的として退職した場合、
10年以内であれば再雇用する。

3 フレックス制度

…自分のライフスタイルに合わせた働き方を支援する制度。

1 職域創成

・・・障がい者雇用の新たな職域創成を目指し、水耕栽培による野菜の生産業務を2015年に開始。現在は、千葉県と茨城県に農園を設立し、農業に従事したい障がい者の方の就労を実現しています。



2 女性活躍

・・・女性社員を対象に、働き方などを伝え、キャリアプラン形成のサポートを実施。



えるぼし（女性活躍推進）

女性活躍推進法に基づく優良企業として「えるぼし認定」取得。

いつも、 そこに、 フォーカス

変わりゆく時代の、中心でありたい。
その強い思いと共に、50年ほど前、フォーカスシステムズのITへの挑戦は始まった。

当時、できることはまだまだ少なく、試行錯誤し、
ただ目の前のことを投げ出さず、必死に技術を磨くことで、少しずつ前に進んできた。

最初は気持ちだけで、突き動かされていたのかもしれない。

「決してあきらめない。」
誰にでも言える、誰もが耳にしたことがある、でも実現は簡単ではないこと。
変わらず、今でも続けていることだ。

この信念を胸に、常に一步先を見据え、目まぐるしく変わる社会に、対応し続けてきた。
そうやって私たちが携わってきたITシステムは、今では、多くの人に触れるような存在となった。

難題が生じた時は、長年積み重ねたノウハウと、知識、そして、
それらを活かす個性豊かな仲間が化学反応を起こし、新たに導き出した答えと共に乗り越える。

そうして枠を越えることで、常にこれまでの常識にとらわれない、ニューノーマルであることができる。

しかし私たちは無謀なチャレンジはしない。それはすべての人々と共にいる自覚があるから。
ただし、チャレンジはやめない。まだまだ私たちには進化が必要だから。

そうやって「少しずつ積み重ねる」という最高速度で、これからも動き続けることができるのだ。

変わらない旗を持ち続けてきたことで、一人、またひとりと仲間は集まってきた。
家族、友人、仲間、自分自身を含めた、あらゆる人々に焦点を当てる。
みんなが安心できる、なくてはならないITサービスを提供し続ける。

まっすぐ、ブレない。
私たちは大切なコトにフォーカスし続ける会社です。

01



Focus on

Future

常に先を考え、行動する

- ① 展開を見据えた開拓と拡大
- ② 社会の未来への貢献
- ③ 時代の一步先をいくアイデア

02



Focus on

Opportunity

自らの力でチャンスを作り、
そして活かす

- ① チャレンジ精神を伸ばす環境
- ② 現場での決裁力
- ③ 限りない挑戦への土壌

03



Focus on

Character

あらゆる個を尊重し、磨き、
特別なチームとなる

- ① 個の連携で確立された独自のポジション
- ② 顧客の個性との共鳴と伴走
- ③ 社員の強い想いを支え、背中を押す社内体制

04



Focus on

Unlimited

常に自由な発想で創造し、
無限の可能性を生み出す

- ① 蓄積された重厚なノウハウ
- ② 物事を推進し、構築する力
- ③ 無限の選択肢を可能にする創造力

05



Focus on

Stability

安心のために、安定であり続ける

- ① 安定した財政基盤
- ② 多様な課題に寄り添える、柔軟性とキャパシティ
- ③ 積み重ねた信頼感